

## 「市民無視は許さない！全国交流会」開催方針

・日時 7月31日 13:00~14:30、 ・場所：504号室

<この交流会を開催する目的>

7月7日、枚方市香里ヶ丘中央公園において、市民無視の美術館建設反対運動の勝利が確定した。市民の立ち入りを阻んできた工事用フェンスが、市当局の手によって撤去されたのである。2014年8月29日以来、2年近く「見守り」活動を続けてきた当該地域の市民と支援者たちは、手を取り合って勝利を喜び、フェンスの設置強行時には激しい「敵対」関係までになった市職員らの労をねぎらった。

この美術館を建設する計画は、2013年7月3日に地元の資産家が負担付寄付を申し出たことに端を発する。その後、地域の有力者への説明や市議会の委員会での質疑を経て、2014年3月24日には市長が寄附者と「覚書」を交わし、二日後の市議会本会議で条例が可決された。公園周辺の大多数の地域住民たちは、議会決議のマスコミ報道で初めてこの問題を知った。建設反対運動はまず、説明会の開催を要求することから始まったのである。

しかし、「建設ありき」の枚方市は、住民から出される自然環境破壊や長期かつ多額の財政負担に対する疑問に誠実に答えることなく、「住民無視」の姿勢を露わにしていた。いつ建設工事が強行されるかわからない状況の中、住民たちは「香里ヶ丘中央公園見守り隊」を結成し、粘り強く運動を続けてきたのである。

今、枚方にとどまらず、規制緩和と民営化路線によって、全国各地で乱開発による地域社会や自然環境の破壊が進められている。すべてが行政権力に迎合する少数の「住民代表」と「翼賛議会」によって決定され、住民の反対の声は押しつぶされている。このような状況だからこそ、枚方市におけるこの画期的な勝利の意義を全国的に明らかにし、“住民が主人公”の闘いを全国に拡大することが求められている。この交流会では、「見守り隊」の活動がどのように進められてきたのかを報告し、全国の市民運動との交流を目指したい。

<運営責任> 香里ヶ丘中央公園見守り隊の有志と枚方全交参加団

<タイムテーブル>

- 13:00~13:40 「香里ヶ丘中央公園見守り隊」からの報告
- 13:40~14:00 他の地域からの報告（『なくせ原発！河内長野デモ実行委員会』、日野市の市民運動など）
- 14:00~14:30 交流・討議